農山漁村活性化再生可能エネルギー事業化サポート事業

農山漁村を豊かにする 再生可能エネルギー シンポジウム

農山漁村に豊富に存在している自然の恵みを最大限活用し、再生可能エネルギーの導入を図ることで、農林漁業の発展、活性化を目指します。

本シンポジウムでは、農林漁業者（団体）が中心となって取り組む再生可能エネルギー発電事業について、有識者にその意義をご講演いただくとともに、実際に地域で取組を進めている団体からの報告やパネルディスカッションをとおして、農山漁村の活性化につながる再生可能エネルギー事業のあり方について考えます。

多くの方々の参加をお待ちしております。

日時 2015年 10月6日（火） 12:45-16:45（開場 12:15）

会場 日比谷図書文化館 コンベンションホール

◆定員　150名

◆参加無料　申し込みは裏面をご覧ください。

プログラム

基調講演
「これが本当の地方創生、エネルギー兼業農家のすすめ」
金子　勝 氏
（慶応義塾大学経済学部教授）

農山村地域の再生可能エネルギー 事例紹介①
「会津地域のエネルギー自立を目指して」
佐藤　彌右衛門 氏
（会津電力株式会社代表取締役社長、一般社団法人全国ご当地エネルギー協会代表理事）

農山村地域の再生可能エネルギー 事例紹介②
「頑張る中山間地域や漁村の人たちを再生可能エネルギーで応援」
豊岡　和美 氏
（一般社団法人徳島地域エネルギー理事）

再生可能エネルギーをリードする自治体政策 事例紹介
「長野県における再生可能エネルギー拡大の取組」
田中　信一郎 氏
（長野県環境部環境エネルギー課企画幹）

パネルディスカッション
「農山漁村を豊かにする再生可能エネルギー事業とは」

※講演・事例紹介のタイトルは、当日変更になることがあります。

お問い合わせ
一般社団法人 日本再生可能エネルギー協会
TEL：070-6572-2868　FAX：03-5942-8938

※ 本シンポジウムは、農林水産省の補助事業として実施しています。

【講演者プロフィール】

金子　勝 氏
（慶応義塾大学経済学部教授）

経済学者。専門は財政学、地方財政論、制度経済学。3・11後には内閣府原子力委員会の原子力政策大綱策定委員を務め、電力会社の経営問題やエネルギー兼業農家の提唱などエネルギーや地域の問題に積極的に言論活動を行っている。武本俊彦氏との著書に『儲かる農業論 エネルギー兼業農家』（集英社新書）など多数。

佐藤 彌右衛門 氏
（会津電力株式会社 代表取締役社長
一般社団法人 全国ご当地エネルギー協会
代表理事）

江戸時代より続く合資会社『大和川酒造店』の九代目社長。原発に依存せず地域に根差した再生可能エネルギーによる社会を目指し2013年８月、会津電力設立。2014年に設立された「全国ご当地エネルギー協会」代表幹事に就任。

豊岡 和美 氏
（一般社団法人徳島地域エネルギー理事）

元徳島県議会議員。再生可能エネルギーのコンサルティングを通じ、地域が地域のために資源を使う、環境負荷の少ない仕組みを創り出す。
再生可能エネルギーと環境が両立する持続可能な社会の構築を目指す。

田中　信一郎 氏
（長野県環境部環境エネルギー課企画幹）

明治大学大学院政治経済学研究科博士後期課程修了博士（政治学）、国会議員政策担当秘書、明治大学政治経済学部専任助手、横浜市地球温暖化対策事業本部政策調査役、内閣府行政刷新会議事務局上席政策調査員、内閣官房国家戦略室上席政策調査員等を経て、2011年10月より現職。

【会　場】

日比谷図書文化館 コンベンションホール
(千代田区日比谷公園1番4号)

- ◆**東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」** B2出口より徒歩約3分
- ◆**都営地下鉄 三田線「内幸町駅」** A7出口より徒歩約3分
- ◆**東京メトロ 千代田線「霞ヶ関駅」** C4出口より徒歩約3分
- ◆**JR 新橋駅** 日比谷口より 徒歩約10分

【申し込み方法】

本申込書を以下にFAXいただくか、HPの申込フォームからお申し込みください。

FAX番号：**03 - 5942 - 8938**　　HP：http://www.jrep.or.jp/213

【シンポジウム】農山漁村を豊かにする再生可能エネルギー　参加申込書

フリガナ					
お名前					
ご所属					
TEL		FAX		e-mail	

関心のある再生可能エネルギーはありますか。
□ 太陽光　□ 小水力　□ 風力　□ バイオマス